

水・大気環境局土壌環境課

1. 事業の概要

首都圏等の大都市圏においては、移転した工場跡地の大規模な再開発などに伴い、地下階や地下通路とすることになる部分等から大量の汚染土が掘削除去され、捨て場や処理施設を求めて大量に地方へ移動している。

ところが、これらの汚染土は見た目は普通の残土と変わらないため、発生場所から適正な処分場所までの広域的な移動を確実に把握できるようにしなければ汚染が各地に拡散してしまうおそれがある。そのため、電子情報システムを活用して搬出汚染土の物流を管理することができる可能性がある各種技術の情報を整理解析し、汚染土の物流管理システムに必要な性能基準を明らかにすることにより、適切な物流管理の確保を図る。

2. 事業計画

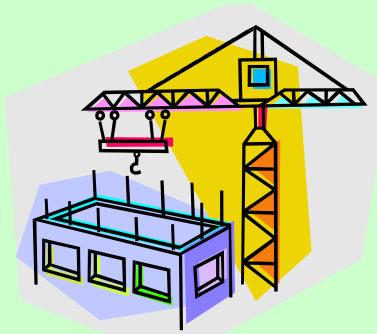
調査項目	H19	H20	H21
汚染土等物流管理に用いることができる可能性が高い 既存の物流管理システムの実態調査	←→		
現場試行調査		←→	→
搬出汚染土管理システムの性能基準の検討			←→

3. 施策の効果

本システムが整備されることにより、汚染土処理の透明性の確保及び汚染土の不適正な処理の抑制及び防止が図られる。

搬出汚染土物流管理対策検討調査

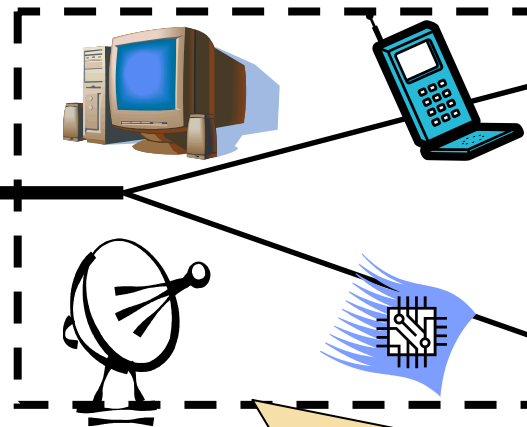
首都圏等の大規模再開発等により汚染土が大量に発生



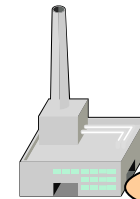
・汚染土が捨て場や処理施設を求めて大量に地方へ移動
・見た目は普通の残土と変わらない

汚染が各地に拡散してしまうおそれ・不安

発生場所から適正な処分場所までの広域的な移動を確実に把握できる電子情報システムを活用した汚染土物流管理を検討



処分場



浄化施設

適切な汚染土物流管理を確保

- ・汚染土等物流管理に用いることができる可能性が高い既存の物流管理システムの実態調査
- ・現場試行調査
- ・搬出汚染土管理システムの性能基準の検討